

はじめに

富里市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画の策定にあたり、平成29年1月に行ったアンケート調査の結果では、富里市には生きがいを持って元気に活動したいと考える高齢者が多いことがうかがえます。

今後の超高齢社会の中で、介護保険制度を持続可能にするためには、多くの高齢者が健康ではつらつとした生活を送ることができるよう、介護予防や生活支援施策を充実させることが重要です。

また、日常生活で介護などの手助けが必要となったときのために、必要な支援が安心して受けられるサービス提供の仕組みづくりも重要となります。



本計画では、基本理念に「ともに支えあい 笑顔が生まれるまち」を掲げ、介護・予防・医療・住まい・生活支援の5つの基本指針に基づき、各種施策に取り組んでまいります。

具体的には、地域包括支援センターを地域の高齢者福祉の拠点として機能強化させ、多様な職種・機関の連携により高齢者支援のネットワークの構築を図ることや、利用者のニーズをふまえながら介護・生活支援サービスを充実させ、高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な日常生活を支援する体制の整備を進めていきます。

また、歳を重ねながら明るく健康な生活を続けることができるよう、介護予防・重度化防止に向けた取組みを実施し、高齢者の社会参加を推進して、世代を超えて地域住民がともに支えあう地域づくりを進めていきます。

本計画の基本理念を実現させるためには、行政や介護・医療・福祉関係者などが、それぞれの力を最大限に発揮しながら協力していくことはもとより、市民の皆様のお力添えがあつてこそ、その実現を可能とし充実させるものと考えております。

本計画の推進につきまして、皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

おわりに、本計画の策定にあたり、様々な立場からご審議いただきました富里市介護保険運営協議会委員の皆様をはじめ、アンケート調査やパブリックコメント等において貴重なご意見をお寄せくださいました皆様及び関係各位に、厚くお礼申し上げます。

平成30年3月

富里市長 相川 堅 治